

# ハンドボール

(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 17

No. (16名用)

スローオフチーム **愛知県**

A **石川県** **愛知県** B

スコア: **41** - **10**

時間: 20:37

審判員: **前田 義浩** 7m TC

大会名 **第14回国民体育大会 ぎふ清流国体**

平成24年10月7日(日) 場所 **下呂清流会館**

種別 **成年** 男  女  回数 **第1回戦** 準決勝  決勝  リーグ

A	石川県		警告	退場	失点	チームタイムアウト		前半	後半	合計	
	得点	結果				前半	後半				
役員A	前田 義浩										
役員B	北岡 克彦										
役員C	佐藤 大輔										
役員D	木村 康之介										
1	吉田 三友紀										
2	若菜 泰香							T	2		
3	翁 和佳子							T	2		
4	上野 史織							T	2		
5	八土 智美							T	6		
6	石野 安知子							T	9		
7	若松 里佳							-	1		
8	小野 香理							T	2		
9	横塚 由香子							T	3		
10	藤原 千穂世							T	9		
11	翁 茉莉枝							T	5		
12	田代 友子							T	5		
合計									20	21	41

A	前半		B	後半		A	後半		B	
	得点	結果		得点	結果		得点	結果		
9	1	2	41			10	21	1	12	
8	2	4	20			3	22	1	27	
5	3	5	58			3	S	2	20	
5	4	6	39			11	33	4	13	
5	5	7	24		①	3	24	5	28	
6	6	8	29			10	25	6	14	
9	W	9	20			10	26	6	29	
10	7	10	11			11	27	8	19	
6	W	11	21			10	25	4	3	
		11	21		W 5	5	28	11	26	
9	8	12	41		①	2	29	12	19	
5	W	13	40	1	11	6	30	13	29	
6	9	14	18			10	31	14	19	
4	10	15	18			2	S	14	28	
10	11	16	33		W 11	5	S	15	19	5
9	12	17	39			16	26	6	0	6
6	13	18	48			11	32	17	33	
		19	11	2	11	6	33	18	29	
5	14	19	36			11	0	19	14	S 9
7	15	20	22		W 3	11	35	20	13	
6	16	20	05					22	00	7
8	17	22	22					22	23	8
4	18	23	39			10	36	23	16	
6	19	24	51			2	37	24	20	
		25	45	3	5			24	32	9
10	20	27	23			10	38	25	38	
合計			20		3			26	28	10
合計			20		3			26	28	48

特記事項

① (主催者用)

タイムキーパー **島田 龍成** スコアラー **古田 博太郎**

## ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No. 16

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月7日(日)	試合記号	E1	回戦	準々決勝
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
石川県			愛知県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
41	20	前半	3	10	
	21	後半	7		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名

中村 敏朗

前評判通りの実力を見せつけた石川県と愛知県。両チームの一戦は、2分35秒に石川県9番横嶋のポストシュートから始まった。その後も愛知県が2回目のタイムを12分41秒に取るまで、石川県は8連続得点をあげ、8対0とリードする。石川県8番小野澤を要とした。堅いディフェンス、12番キーパー田代の好セーブの連続で、愛知県にゲームを作らせない。特に、石川県8番小野澤の先を読むセンスの良さが光っていた。また、オフェンス面では愛知県がディフェンスに戻っても速攻のスピードは緩むことなくボールが生き続けてシュートで終わるつなぎは、選手の視野の広さを感じさせた。一方、愛知県は2度目のタイム後、会場につめかけた小学生のかわいらしい声援をバックに、13分30秒に11番山内が石川県のパスミスに乗じて速攻で初の得点をあげた。18分50秒には愛知県8番阪本が粘ってサイドにパスを送り、11番山内が2点目をあげた。しかし、石川県は21分、9番横嶋、5番八十島が2度目のチャージを奪い6番石野の速攻につなげるなど、動きを読むレベルの高いディフェンスで着々と加点し、愛知県の追加点を25分45秒、5番高橋のポストシュート1点に抑え前半を20対3で終了した。

後半のスタートも、1分10秒に石川県10番後藤の速攻から始まり、10分間に7連続得点をあげた。一方、愛知県は10分26秒に3番伊藤がサイドシュートを決め、15分15秒には3番伊藤のパスカットを4番福井が速攻で得点につなげるなど、後半は7得点をあげた。石川県は後半にメンバーチェンジをしたものの、スピード豊かな攻守は変わらず、41対10で試合終了となった。終わってみれば大差の試合となったが、前半10分間の石川県の素晴らしいディフェンスが決め手になったと思われる。